

福井工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	歴史 I (F4)	
科目基礎情報							
科目番号	0049		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	1年混合学級 (一般教育科目)		対象学年		1		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材							
担当教員	木村 美幸						
到達目標							
近現代日本の歴史を国際社会との関わりをふまえて把握し、それを説明することが出来る。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	日本近現代にかかわる基本的な出来事の内容、背景、経緯について8割以上説明できる。		日本近現代にかかわる基本的な出来事の内容、背景、経緯について7割以上説明できる。		日本近現代にかかわる基本的な出来事の内容、背景、経緯について説明できない。		
評価項目2	歴史的な事象について、合理的かつ適切に説明することができる。		歴史的な事象について、適切に説明することができる。		歴史的な事象について、説明することができない。		
評価項目3	日本の動きが国際社会の中でどのように位置づけられるのかを、合理的かつ適切に説明することができる。		日本の動きが国際社会の中でどのように位置づけられるのかを、適切に説明することができる。		日本の動きが国際社会の中でどのように位置づけられるのかを、説明することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 RA1							
教育方法等							
概要	現代社会の諸問題の歴史的な背景を把握し解決することができる技術者となるために、近現代日本の歴史について理解し、それを適切に説明できるようになる。						
授業の進め方・方法	日本近現代史について、レジュメを主として授業を展開する。授業は教科書の内容に準拠しつつも、トピックごとに進めていく形式とする。 前期は明治期までを、後期は大正期以降の時代を扱う。						
注意点	レポートの提出によって総合的に評価する。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	前期ガイダンス 高専で学ぶ歴史				
		2週	映画・ドキュメンタリーに見る歴史①		ドキュメンタリー等を鑑賞し、内容を適切にまとめることができる		
		3週	映画・ドキュメンタリーに見る歴史②		ドキュメンタリー等を鑑賞した内容をふまえ、それを歴史的に解説することができる		
		4週	「近代」とはどういう時代か		近代の成立について世界史的な視点から理解し、説明することができる。		
		5週	西洋への憧れ ①開国と文明開化		開国と文明開化について、西洋諸国との関係から理解し、説明することができる。		
		6週	西洋への憧れ ②学制・徴兵制		西洋諸国に並ぶ国となるために、人にかかわる各政策が実施されていったことを理解し、説明することができる。		
		7週	西洋への憧れ ③地租改正・殖産興業		西洋諸国に並ぶ国となるために、産業にかかわる各政策が実施されていったことを理解し、説明することができる。		
		8週	天皇中心の国づくり ①近世の天皇と国学		近代天皇制の前提となった近世の天皇制や国学について理解し、説明することができる。		
	2ndQ	9週	天皇中心の国づくり ②明治維新		天皇中心の国づくりを目指して明治維新が行われたことを理解し、説明することができる。		
		10週	天皇中心の国づくり ③憲法の発布と天皇		大日本帝国憲法発布までの流れを天皇制とのかわりをふまえた上で理解し、説明することができる。		
		11週	歴史的に物事を分析する ①テーマ設定		歴史的に分析するための適切なテーマを設定することができる		
		12週	歴史的に物事を分析する ②年表をつくる		特定のものごとを対象に年表を作成できるようになる		
		13週	歴史的に物事を分析する ③画期を分析する		年表をふまえた上で画期を指摘できるようになる		
		14週	「帝国日本」の誕生 ①国境の確定		日本が自国の国境を画定していく過程を他国との関係をふまえた上で説明することができる		
		15週	「帝国日本」の誕生 ②日清戦争の開戦の詔書を読む		日清戦争の開戦の詔書を読み、内容について考えることができる。		
		16週					
後期	3rdQ	1週	「帝国日本」の誕生 ③日清戦争と三国干渉		日露戦争から韓国併合までの国際社会における日本の進出について理解し、説明することが出来る。		
		2週	「帝国日本」の誕生 ④日露戦争から韓国併合へ		韓国併合までにおける日本の立場について理解し、説明することができる。		
		3週	大衆の登場 ①都市化と民衆		大正デモクラシー期に大衆が誕生する過程について理解し、説明することができる。		
		4週	大衆の登場 ②都市暴動		大衆が起こした都市暴動とその展開について理解し、説明することができる。		

		5週	大衆の登場 ③都市化の諸問題	都市化が進んだことにより、どのような問題が起こったかについて、理解し、説明することができる。
		6週	戦争への道 ①大正期の対外関係	大正期に日本が諸外国とどのような関係をきずいていたかを理解し、説明することができる。
		7週	戦争への道 ②軍部の台頭	軍部が力をもっていく過程について理解し、説明することができる。
		8週	戦争への道 ③満洲事変～日中戦争	日中戦争が開戦した経緯や日中戦争の経過について世界情勢をふまえた上で理解し、説明することができる。
	4thQ	9週	戦争への道 ④太平洋戦争	太平洋戦争の開戦から終戦までの課程について理解し、説明することができる。
		10週	戦争と国民 ①史料を読む	戦争と国民の関係についての史料を読むことができる。
		11週	戦争と国民 ②自分の考えをまとめる	戦争と国民との関係について、史料を元に考えることができる。
		12週	戦争と国民 ③議論する	戦争と国民との関係について、史料を元に議論することができる。
		13週	現代社会へ ①冷戦と日本	冷戦期における日本の立場について理解し、説明することができる。
		14週	現代社会へ ②5 5 年体制	5 5 年体制下の日本が国際社会でどのような活動を行ったかについて理解し、説明することができる。
		15週	現代社会へ ③5 5 年体制の崩壊と現代社会	冷戦終結と5 5 年体制の崩壊やその後の日本について理解し、説明することができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7
			帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12
			第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	後13,後14,後15
			19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	前9,前10,前11,前14,前15,後1,後2,後6,後8,後9
		公民的分野	自己が主体的に参画していく社会について、基本的な人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3	前2,前3,前7,前10
		現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	前2,前3,後15
	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	社会における技術者の役割と責任を説明できる。	3	前1,後15
			環境問題の現状についての基本的な事項について把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。	3	前1,後5
			環境問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	3	後5
			国際社会における技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	3	後15
			技術者を目指す者として、平和の構築、異文化理解の推進、自然資源の維持、災害の防止などの課題に力を合わせて取り組んでいくことの重要性を認識している。	3	前1,前11,後10,後11,後12,後15

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題・レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0